

平成29年度 学校評価アンケート結果について

京都市立塔南高等学校

1. 生徒アンケート

(1) 概況

- 各項目の評価数値について、多くの項目で例年に比べて大きな変化は見られないが、授業における話し方や質問への対応、生徒指導がしっかりと行われていることや部活動が熱心に行われていること、補習や模擬試験などの取組や健康管理に関する情報提供については高い評価である。
- 生徒自身の授業への集中や試験に向けた取組、学校の美化に関する指導については低い評価となっている。また、生徒自身の家庭学習時間の確保や学校の施設・設備の管理・整備については極めて低い評価になっている。
- 質問への対応や人に対する思いやりの心を高める指導については、昨年度に比べて高い評価の割合がやや増加している。また、学校行事が活発に取り組まれていることについては、昨年度に比べて高い評価の割合が増加している。

(2) 改善を求める主な意見の趣旨

- 身だしなみに関する指導をすべての先生がしっかりとやってほしい。
- 校舎やグラウンドなどの施設・設備の老朽化を改善し、環境を充実してほしい。
- 学校行事を生徒の主体性を活かして楽しく充実させてほしい。
- カリキュラムを大学入試に十分対応したものにしてほしい。

2. 保護者アンケート

(1) 概況

- 各項目の評価数値について、例年に比べて大きな変化は見られないが、生徒指導の適切さや学校行事に活発に取り組ませる指導については高い評価である。また、生徒が充実した学校生活を送っていると見ていただいている。
- 施設・設備の管理・整備に関しては低い評価である。
- 健康・安全に関する指導や学習上の質問への対応、施設・設備の管理・整備については、昨年度に比べて高い評価の割合がやや増加している。一方、授業の大切さを伝える指導や自宅学習を促す指導については高い評価の割合がやや減少している。

(2) 改善を求める主な意見の趣旨

- 学校の様子や学校行事等について、もっと保護者に情報が伝わるようにしてほしい。
- 進路希望を実現させるために、熱意のある進路指導や学習指導を行ってほしい。
- 移転を控えていても、現状の教室や校舎等の施設・設備を整備・充実してほしい。
- 部活動の指導体制や勉強と部活動を両立させる指導を充実してほしい。

＜結果を踏まえた今後の基本方針＞

本校では、現在の教育活動について課題を検討し、特に以下の項目について改善・充実を図ることとしている。

○進路指導の充実

- ・進路指導計画およびロングホームルーム計画を充実し、進路希望の実現を図る。

○学力向上を図る指導の充実

- ・教科指導力の向上と家庭学習の定着を図る取組を充実し、学力を向上させる。
- ・土曜塾、集中学習会、朝学習などの取組を見直し、より効果的なものにする。

○「教育みらい学」の充実

- ・ねらいや内容及び授業の実施方法などを見直し、より効果的なものとする。

○普通科の「総合的な学習の時間」の充実

- ・3年間の体系化された取組になるよう見直し、キャリア教育の柱とする。

○生徒の自主性を育む取組の充実

- ・校内外のボランティア活動への参加を奨励し、社会に貢献する意識を高める。

○文化的な課外活動の充実

- ・国際交流や科学系のイベントなどへの参加を奨励し、個性の伸長を図る。

学校評価アンケートにおける生徒・保護者の評価や改善を求める主な意見の多くは上記の課題と深く関連しているため、上記の課題の解決を通して生徒・保護者の期待に応えられるよう教育活動の一層の充実を図る。

老朽化している施設・設備については、生徒・保護者の要望も踏まえながら、トイレの改修やアクティブラーニング教室の設置など改善・充実に努めているが、今後も引き続き取り組んでいく。

カリキュラムについては、進路希望の一層の実現を図るため、今年度から従来の45分授業を50分授業に変更し、教育みらい科と普通科特別進学コースは国公立大学や難関私立大学への進学に対応できるように、普通科普通進学コースは中堅私立大学への進学を中心に対応できるよう改善を図ったところであるが、今後も引き続き必要な改善・充実を行う。

情報発信については、ホームページを中心に行っているが、今後は学校が配布する文書について生徒に保護者へ確実に渡すよう指導するとともに、ホームページでの情報提供も行う。

生徒指導については、すべての教職員が統一した指導方針で指導に当たるよう努める。